

# DMOの取組状況に関する調査について

---

平成30年11月28日  
観光庁

# DMOの取組状況に関する調査 概要【現在調査中】

- 前回の検討会において、世界水準のDMOのあり方の検討の前提として、DMO全体のレベルアップについても議論すべきではないかというご指摘があったことを踏まえ、現在のDMOの取組状況に関する調査を実施。

## DMOの取組状況に関する調査 概要

### 調査対象

日本版DMO・日本版DMO候補法人 208団体

### 調査内容

以下の項目に関する取組状況を調査。

地域の観光振興計画における  
DMOの役割

現状を客観的に把握するための  
基礎的な取組みの必要性に関する  
地域内共有及びDMOの活動への反映

観光協会等の既存組織の  
業務との関係の整理

☆更に前回の検討会で委員からの指摘が特に多かった以下の項目に関する取組についても調査。

DMOによる地域の関係者間  
のマネジメントに関する取組

DMOが地域で実現を目指す  
ビジネスモデル・地域の経済循環、  
来訪者の経験価値向上を図るための取組

ヒト・モノ・カネに関する  
資源の確保や  
配分に関する取組

## 現在の状況と今後の進め方

■ 現在、観光庁において、各DMOからの回答をとりまとめ中。

■ 回答のとりまとめに併せて本検討会において上記の調査項目に関するヒアリングを実施。<sup>1</sup>

## ヒアリングの方針

- 特に委員からの指摘が多かった以下のテーマごとに、ヒアリングを実施。
  - ・地域の関係者間のマネジメント
  - ・DMOが実現を目指すビジネスモデル・地域の経済循環、来訪者の経験価値の向上
  - ・ヒト・モノ・カネに関する資源の確保や配分
- ヒアリングでは、基本的な質問事項である『観光振興計画におけるDMOの役割』『基礎的な取組みの必要性に関する地域内共有及びDMOの活動への反映』『観光協会等の既存組織の業務との関係の整理』に加え、各回のテーマに沿った内容についてヒアリングを行う。

## 今後のスケジュール

### ■ 第2回検討会(本日)

【ヒアリングテーマ】 地域の関係者間のマネジメント

【ヒアリング対象】 山陰インバウンド機構、秩父地域おもてなし観光公社、八ヶ岳ツーリズムマネジメント

### ■ 第3回検討会(12/13(木))

【ヒアリングテーマ】 DMOが実現を目指すビジネスモデル・地域の経済循環、来訪者の経験価値の向上

【ヒアリング対象】 信州いいやま観光局、田辺市熊野ツーリズムビューロー、長崎国際観光コンベンション協会

### ■ 第4回検討会(12/20(木))

【ヒアリングテーマ】 ヒト・モノ・カネに関する資源の確保や配分

【ヒアリング対象】 せとうち観光推進機構、阿寒観光協会まちづくり推進機構、下呂温泉観光協会

# DMOの取組状況に関する調査 質問項目一覧【現在調査中】

## 質問事項

問1

対象区域の自治体等が策定した観光振興計画（当該地域の観光振興を目的として策定された計画であって、観光振興をその内容の一部とする計画・ビジョン等を含む）がありますか。当該計画において、DMOは具体的にどのような役割を担うこととされていますか。

問2

対象区域の自治体等における地域自らを客観的に把握するための基礎的な取組（宿泊統計等各種統計や多言語案内等の受入環境の整備等）について、DMOの立場からどのようにご覧になっていますか。自治体等に期待する点、改善点等があれば具体的にお聞かせください。

問3

観光協会や商工会議所等既存組織とDMOの行う事務・事業との役割分担が明確になされていますか。また、観光協会をベースとして発足したDMOの場合、どのような段取りで現在の組織・事業内容に至ったのか、これまでの観光協会の事務・事業と異なる点は具体的にどのようなものかをお聞かせください。

問4

貴DMOが地域で果たすべき役割・仕事について、現在の役割・仕事の内容と、今後必要になってくるだろうとお考えの役割・仕事内容をお聞かせください。

問5-1

対象区域内で観光振興に関する多様な主体間の調整が必要となった場合、その合意形成プロセスにおいて、DMOはどのような役割を果たしていますか。例えば、自治体の観光部局以外との連携をDMOが担っているか、宿泊事業者、観光施設事業者などの民間事業者との連携をどのように行っているか等についてできる限り具体的な取組事例をお聞かせください。また、その際に課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

問5-2

DMOの活動を地域で認知していただくための具体的な取組みについてお聞かせください。特に地域住民や資金の提供元の団体（自治体、会員等）に対する説明や対話はどのように行っていますか。また、その際に課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

問5-3

対象区域にある他の「広域連携DMO」、「地域連携DMO」、「地域DMO」と事務・事業の重複等がないように具体的な調整をどのように行っていますか、その際に課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

問6-1

地域がDMOを通じて実現しようとしているビジネスモデル（旅行者の体験・滞在により地域の経済循環を生み出す仕組み）は具体的にどのようなものでしょうか。KPIはどのような考え方で設定し、どのように活用していますか。また、観光庁に届け出ているKPIのほか、独自で設定しているものがあれば、具体的にお聞かせください。

問6-2

ビジネスモデルが来訪者の経験価値向上を高めるための具体的な取組みにまで落とし込まれていますか。取組主体、取組内容、スケジュール、評価等の一連のプロセスについてDMOが全体を把握できる仕組みとなっていますか。

問6-3

ビジネスモデルの構築、実行に際して、課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

問7-1

DMOの財源や人材の確保についての現在の具体的な取組状況をお聞かせください。その際、課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてもお聞かせください。

問7-2

DMOの財源をはじめとする経営資源のあり方はどのようにあるべきとお考えですか。予算制約がないと仮定した場合の理想と現状との対比という形でできる限り具体的にお聞かせください。

問7-3

DMOの財源確保の観点で、国や自治体に求める役割や機能をどのように考えていらっしゃいますか。具体的にお聞かせください。